

DENSAN

DRC-325K

ラチェットケーブルカッター 取扱説明書

ご使用前に必ず下記の注意事項をお読みください。お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してください。

⚠ 警 告

●活線の切断は絶対にしないでください。感電の恐れがあります。 ●ハンドルグリップは絶縁体ではありません。 ●刃部は鋭利になっていますので直接手指で触れないでください。 ●作業中、刃部やハンドルなどの可動部分に手指を挟まないように十分注意してください。 ●切断物が飛び散る恐れがありますので、保護メガネ、保護手袋を着用してください。 ●使用前に本製品を確認し、異常がある場合は使用しないでください。特に刃が破損、損傷している状態では工具本来の性能を発揮できません。

⚠ 注 意

●銅線以外は切断しないでください。 ●切断可能外径を超える電線は切断しないでください。 ●工具本来の目的以外で使用しないでください。 ●作業時は周りの安全を確かめてから使用してください。 ●刃部、内部ギア、ハンドルなどの可動部に異物、切断物が付着している場合は取り除いてください。本体の破損、損傷の原因となります。 ●当社に無断で分解、改造しないでください。 ●ギアピン、ラッチピンは絶対に外さないでください。 ●定期的に各部ネジに緩みがないか確認し、緩んでいる場合はしっかり締めなおしてください。ただし、センターボルトは、可動ブレードが無理なく回転できる程度に締め付けてください。 ●ハンドルグリップは差し込み式です。無理にねじる、抜き差しを繰り返す等としますと抜けやすくなります。簡単に抜けるようになった場合、市販の接着剤で固定してください。 ●定期的に可動部分に注油してください。 ●ハンドルにパイプ等を巻き足して使用しないでください。 ●切断時、被切断物に対して刃は垂直に入るようにしてください。横にこじたりすると、刃の欠けや割れる恐れがありますのでおやめください。 ●可動ブレードは正しい操作を行わないと解除できません。無理に解除しようとしてハンマーやドライバーで叩く等しないでください。破損、損傷の原因となります。 ●修理は必ずお買い求めの販売店、またはジェフコム販売営業所に申し付けてください。修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因になります。

用途 ・ 切断能力

一般電気工事・変電設備工事・通信線敷設工事等に使用する、CV・IV・SV(VVR)の切断作業にご使用ください。
(被覆外径φ33mmまで切断可能)

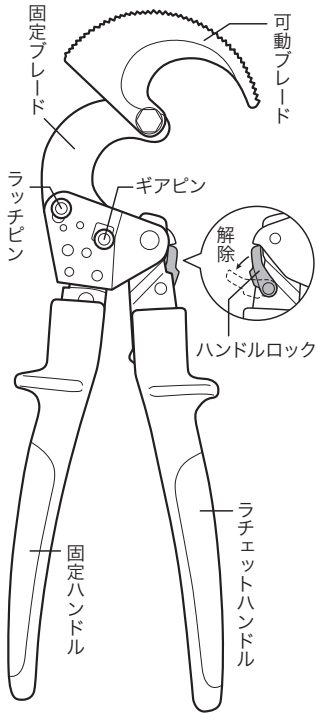
切断可能ケーブル及び公称断面積(最大)(銅線専用)			
CV	CV 3芯	IV	SV(VVR) 3芯
325mm ²	60mm ²	325mm ²	60mm ²

使用方法

- 裏側のハンドルロックを解除します。
- 解除レバーを矢印方向にスライドして、可動ブレードを動かします。
- 切断する電線を固定ブレードに添わした状態で、可動ブレードをギアに噛み合うまで時計回りに押し込みます。
- 両ハンドルをしっかり保持し、ラチェットハンドルを繰り返し動かすことにより、可動ブレードが進んで行き、電線を完全に切断します。
- 作業後は必ず可動ブレードをギアに噛み合った状態でハンドルロックをして、保管してください。

●使い方のワンポイント

固定ハンドルを床面に置き、ラチェットハンドルをしっかり保持し、繰り返し動かすことで、より楽に切断することができます。



電線が噛み込んだ場合

可動ブレードが電線に噛み込み、ラチェットハンドルを動かしても進まなくなった場合、次の手順通りに操作してください。

- ① ラチェットハンドルを半分程度閉じた状態(ギアが進まない程度)にする
- ② ①の状態を維持したままラッチピンを下にスライドする
- ③ ②の状態を維持したままラチェットハンドルを最大に開いた状態にする
- ④ ③の状態を維持したまま可動ブレードを反時計回りに回し、噛みこんだ電線を取り除く

